

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	雷電為右衛門顕彰普及事業 どんどこ紙相撲大会
事業主体 (連絡先)	しげの里づくりの会 東御市滋野乙 205 - 1 しげの里づくりの会事務局 電話 71 - 7581
事業区分	教育・文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	618,088 円 (うち支援金: 494,000 円)

#### 第2回 どんどこ 巨大紙相撲大会 東御場所

雷電生誕250年事業として市挽霞記念館が主催した事業を地元にて継承開催

#### 事業内容 市中央公民館にて開催

平成30年10月チラシ・ポスター作製 配布・掲示  
平成31年1月19日20日ワークショップ・土俵づくり  
28チーム 360名参加、197cmのダンボールの力士をルールに沿って作成。

完成後 新弟子検査(規格内か) 初稽古対戦して弱点補強  
平成31年2月2日 東御市中央公民館にて  
雷電巨大紙相撲東御場所開催

参加者 360名 応援者・報道者・協賛招待者・一般観戦者  
400~500名とおもわれます。

- ・東関部屋後援会・相撲甚句会・雷電太鼓の皆様  
相撲甚句・相撲太鼓・呼び出し・審番・解説をお願い
- ・白鳥神社宮司様に土俵の清めを本格的に開催



【優勝力士】



#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

参加者昨年200名程度でしたが、本年度は400~500名と増加、一般の観戦者も増えて盛大に開催できたことは成果が出たと思います。

- ・地区外からも参戦があり昨年以上の盛り上がりがあった。
- ・地域の企業の皆様に協賛をいただき、より大きな事業にすることが出来た。
- ・地域の大人・子供・男女問わず戦えるので人との交流等世代の壁を超えた事業が出来たと思います。
- ・報道関係テレビで20分~30分特番をいただき反響が大きく来年も開催をの依頼が

- ① 地域の盛り上がり
- ② 近隣地域全体の活動
- ③ 大人・子供の共同作業と成果
- ④ 創造力 チーム感の養成

#### ※自己評価【A】

##### 【理由】

計画していたより盛り上がった観戦者・応援者の昨年以上に多い他地区からの参戦があった。昨年よりレベルアップ協同製作感

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

これだけ、盛り上がりれば来年も実施しなければならないと思っております、次回に向けて検討を始めており、もっとたくさん参加できるにはどうしたら良いのか検討中です。

- ・地区外にも範囲を広めていきたい。現在の場所では狭いが他体育館を検討

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	学びによるものづくりワークショップ
事業主体 (連絡先)	御牧ふれあいの郷づくり協議会 東御市大日向 337
事業区分	③教育、文化の振興 ④安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,808,853 円 (うち支援金：1,400,000 円)

#### 事業内容

アートの楽しさを体験してもらうことによって子どもから大人まで、どの年齢の方にも楽しんでもらえるようなワークショップと地域とアートを考えるトークイベントを開催した。また、活動内容等をまとめた記録報告集を作成し、各所に配布を行った。

##### 【ものづくりワークショップの実施】

- 第1回 8/19 憩いの家 30名参加
- 第2回 10/21.28 (連続) 憩いの家 16名参加
- 第3回 11/24 憩いの家 17名参加  
12/1 憩いの家 29名参加
- 第4回 1/20 北部企業体跡 19名参加

##### 【トークイベントの開催】

- 2/10 北御牧公民館 10名参加



【WSの様子】

##### 【目標・ねらい】

- ①子どもから大人まで、これからの時代に必要な柔軟な発想を育む
- ②地域の新たなコミュニティ形成
- ③地域への愛着、市民プライドの高まり

#### 事業効果

- ①アンケートの集計結果から、すべての回を通して、「むずかしかったが、楽しかった」という趣旨の意見が多くみられ、大人から子どもまで幅広い層の人に向けて、日常では体験できない機会の提供ができたと感じた。
- ②アンケートでは「友人が多くできた」、「参加者同士でコミュニケーションをとりながら作業が行えた」などの意見があり、本事業を通じて新たな人のつながり、コミュニティを作る一端を担えたと感じる。
- ③地域の歴史的背景を意識することができたという声が聞かれた。また、トークイベントでは参加者から、北御牧地区にもともとあった地域の芸術むら構想などの話があり、アートと地域活性化について考えるよい機会になった。

##### ※自己評価 【B】

- 【理由】
- ・アンケート集計結果の参加者の満足度が非常に高いこと
  - ・活動の内容や、告知方法が不十分でわかりづらいとの意見があったこと

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後も「むずかしかったが、楽しかった。」という体験を提供できるようにワークショップの内容については検討し、充実させていきたい。また、運営方法や広報活動など充分に行えるよう整備し、活動を継続的に行えるよう、スタッフ人員の増員もふくめた体制づくり、東御市内に限らない、つながりをもったコミュニティづくりを行っていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	スキー産業を支える人材と「スキーで世界に羽ばたく人材」育成事業
事業主体 (連絡先)	長和町スキー振興協議会 会長 立岩 寿一 〒386-0601 長野県小県郡長和町大門鷹山 3652 ブランシュたかやまスキー学校内
事業区分	(3) 教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,550,000円 (うち支援金: 2,662,000円)

#### 事業内容

長和ジュニアレーシング選手育成のため、育成指導を実施した。シーズン当初の雪不足の時期は室内で、身体、体幹トレーニング、座学を実施。12月の後半以降、屋外トレーニングを実施した。各大会にも参加し成績も予想以上だった。

長和ジュニアスキー教室を6回(1月～2月)実施し46名が参加した。参加者数が計画より少なかったのは課題だが、子供たちの上達は早くジュニアスキー検定の成績もよかった。

キッズスキー大会を2回(2月、3月)実施し延べ108名が参加した。関西をはじめ全国から参加があり、ぴよぴよレースは家族で参加でき、二つの大会は大変盛り上がった。



【スキー競技会スタート】

#### 【目標・ねらい】

- ① 事業に対する子供の意識構築
- ② マテリアル、雪に慣れる指導
- ③ 基礎練習による基本運動の習得とスピードに慣れる指導

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

スキー大会開催事業では、全国各地から参加者があり、これを機にリピーターになるお客様もいる。

ジュニアスキー教室、レーシング選手育成指導についても、資格取得、大会好成績などの効果があった。

この事業の開始したことで、保護者会、スキー場関係者の理解と団結と協力が得られた、又子供たちが積極的にスキーの練習に参加してくれるようになった、新規に参加したい声も出て来ている。

#### ※自己評価【 B 】

#### 【理由】

キッズレースからスキー教室、レーシングまで一貫した事業が展開でき、将来スキー産業を支える人材育成に展望が見えた。また、レーシングチームでは、好成績を収める人材も出て「スキーで世界に羽ばたく人材」育成の可能性が高まった。自立基盤の形成もすすんだ。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

31年度は各種アルペン競技大会が1月中旬から始まるので、レーシングの練習もアルペン大会スケジュールに合わせた指導と効率の良い練習をマニュアルに従って実施したい。またジュニアスキー教室は長和町スキー振興協議会会員各団体によりさらに多くの生徒・児童へ参加を呼び掛け、練習メニューを充実し、参加者を増やしていきたい。スキー大会は広報を充実させ参加者を増やし自立の基盤をつくって行く。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

## 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」推進事業
事業主体 (連絡先)	長和町 (長野県小県郡長和町古町 4247-1)
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	5,969,880 円 (うち支援金: 4,541,000 円)

### 事業内容

日本遺産認定による地域振興を目指し、記念コンサートやポスター、パンフレット、懸垂幕や看板の設置による周知活動事業を通して、当地域の魅力を町内外に広く発信するとともに、歴史遺産を活かしたまちづくりや観光等をはじめとする地域振興への積極的な参画と意識の醸成を図る。

- 1, 日本遺産モニュメント看板作成  
町内主要施設 15ヶ所
- 2, 日本遺産懸垂幕の設置  
町内主要施設 6ヶ所
- 3, 日本遺産記念コンサート: 11月4日(文化祭会場)  
2月17日(ブランシュたかやまスキー場)

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 日本遺産認定の意義や価値をアピールすることによって、担い手である町民に地域の歴史遺産の魅力について再認識していただく貴重な事業の実施となった。
- ② 町内全域において集中的に日本遺産認定をアピールする活動を行い、観光施設をはじめ様々な機関に協力を得て事業を進めたため、日本遺産認定を受けた地域が共働でその受け皿となる体制づくりを行う必要性の認識を共有することができた。

### 今後の取り組み

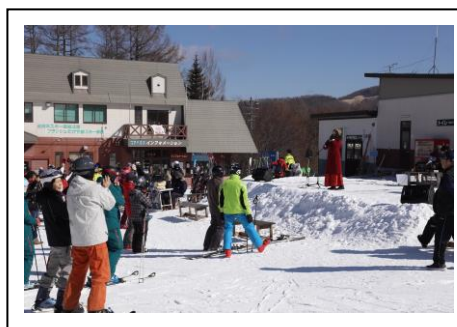
※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・日本遺産認定と地域の魅力を発信する活動を継続的に行う。
- ・活用の受け皿として、他分野の人材が参画する組織づくりを目指す。
- ・歴史遺産から各種の産業に広がる活用の手法を研究するとともに、その主体者となる人材育成に取り組む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【スキー場での日本遺産記念コンサート】

#### 【目標・ねらい】

- ① 日本遺産認定による地域振興
- ② 文化力活用意欲の醸成
- ③ 歴史遺産の多角的活用法の開発
- ④ インバウンド事業への発展

#### ※自己評価 【A】

#### 【理由】

- ・期間が短かったが、ポスターや看板の完成度が高く好評である。
- ・周知活動が主体であったが、内外からの反応があり、次年度の発展的な事業継続への契機となった。



### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「道の駅あおき」魅力発信事業
事業主体 (連絡先)	あおき農産物直売所運営組合
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 イ農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	627,048円 (うち支援金: 479,000円)

#### 事業内容

##### 《パンフレット作成事業》

リニューアルされた「道の駅あおき」の施設や特産品、農産物の紹介を広くアピールできるようパンフレットの企画編集も地域住民と協働で行い、地域住民が主体となって市庭(交流の場)の活用ができ、誘客増を図るための道の駅あおき案内パンフレットを製作する。

- 掲載内容: 道の駅の概要案内、おすすめの特産品、観光案内。
- パンフレット規格・印刷数量: A3版両面印刷(両観音折)・10,000部

##### 《イベント事業》

地域住民と協働し地域住民が主体となって参加企画できるように屋外にある市庭でのイベントや交流、憩いの場として活用できるテント2基購入整備した。

- イベントテント 2基 3.0m×3.0m

#### 事業効果

- ・農産物直売所の来場者数が前年比(10月~12月期) 33%増となった。
- ・食堂味処こまゆみの来客数が前年比(10月~12月期) 62%増となった。

#### 今後の取り組み

リピーターの定着と更なる来訪者を増やしていくために、市庭(交流の場)を活用して、道の駅農産物直売所の生産出荷者と地域住民の協働によるイベントの企画を推進して「道の駅あおき」の魅力を高めていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【地域有志によるコンサート】

#### 【目標・ねらい】

- ①案内パンフレットを作成し「道の駅あおき」の魅力を紹介
- ②市庭(交流の場)を使って各種イベントや交流、憩いの場を提供することにより農山村地域の活性化を図る。
- ③道の駅の来客数の増加

#### ※自己評価【A】

##### 【理由】

- ・農産物直売所の来場者数が目標より23%増加
- ・食堂味処こまゆみの来客数が目標より42%増加